**令和５年度　多摩市立多摩永山中学校　　授業改善推進プラン　　教科名**

美術

|  |  |
| --- | --- |
| **美術科における指導の重点（身に付けさせたい力）　※学習指導要領に照らし合わせて** | |
| ア　知識及び技能 | イ　思考力、判断力、表現力等 |
| 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 | 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 生徒の学力の状況（課題） | 授業における具体的な手だて | 手だての実施時期 | 成果検証（２月） |
| 第１学年 | ・技能には差があるので、基本はおさえ個別対応している。ア  ・鑑賞の言葉による表現力が足りない部分がある。イ | ・個々に能力が違うので、それぞれに合うやり方を提示しながら伸ばしていく。  ・全体鑑賞→ガイドによりより細かく言葉を引き出していく。ここには、問いかけをしながら表現できる言葉を引き出す。 |  |  |
| 第２学年 | ・応用力不足のため、基本をしっかりおさえ、個々に対応している。ア  ・言語表現力の不足、伝達能力の向上が必要である。イ | ・基本の他に多様なやり方を提示し、個々に合うものを選択できるようにする。  ・周りの意見も取り入れ表現の幅を広げ、個々の表現を引き出す。 |  |  |
| 第３学年 | ・応用の多様化が必要である。ア  ・言語表現の強化が必要である。イ | ・技法だけでなく画材、材料の特徴や組み合わせによる表現の多様性を示す。  ・他者のいけにゃ代表的な作家の表現からも工夫や特徴を読み取り表現の幅を広げる。 |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| **■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等ICTの効果的な活用について** | **■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学び**  **に向かう力」の育成に向けた取組について** |
| **・アイデアスケッチ時の調べもの**  **・できた作品を写真で共有し、鑑賞。**  **・参考作品、鑑賞作品を見てイメージをふくらませる。** | **・単元プリントから個人の自己評価表の活用。**  **・作品カードの制作の振り返り。** |